

科目名	専門演習 I Seminar I							
科目担当者	萩原 駿史 HAGIHARA Toshifumi							
単位数	4	配当年次	2年	授業形態	演習	開講学期	通年	
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	<p>今年度は、行動経済学の概要を解説した文献を読むことから始めます。その後、現実の経済現象を行動経済学的な観点から分析するという作業に進みます。</p> <p>演習では三つの班に分かれてもらい、それぞれの班が、報告、質問、司会・評価の役割をローテーションで担当する形で行います。班で報告と討論の準備をする週と報告討論を実施する週とを交互に設ける形をとります。各班の担当が一巡したら、班編成を変更します。この方法では、ゼミ生の主体性と積極性及び協調性と自然発生的リーダーシップの涵養も意図されています。</p>							
授業の到達目標	<p>① 現実の人々の感覚に近い行動経済学の知見を研究し、それを基にして人々の経済行動がもたらす影響を様々な角度から論じることができるようになること。</p> <p>② ゼミ生どうしの議論を通じて、各人が経済行動の見方を確立し、集団における主体性と積極性及び協調性が発揮できるようになること。</p>							
授業計画・内容	1	ゼミについての解説	16	後期方針の確認	2	行動経済学とは：打ち合わせ	17	行動ファイナンス：打ち合わせ
	3	行動経済学とは：報告・討論	18	行動ファイナンス：報告・討論	4	ヒューリスティックス：打ち合わせ	19	幸福度の経済分析：打ち合わせ
	5	ヒューリスティックス：報告・討論	20	幸福度の経済分析：報告・討論	6	時間選好：打ち合わせ	21	実世界における行動経済学：打ち合わせ
	7	時間選好：報告・討論	22	実世界における行動経済学：報告・討論	8	中間討論	23	テキスト内容の再確認
	9	リスク選好：打ち合わせ	24	医療における行動経済学：打ち合わせ	10	リスク選好：報告・討論	25	医療における行動経済学：報告・討論
	11	社会選好：打ち合わせ	26	学習における行動経済学：打ち合わせ	12	社会選好：報告・討論	27	学習における行動経済学：報告・討論
	13	お金と経済心理：打ち合わせ	28	就職における行動経済学：打ち合わせ	14	お金と経済心理：報告・討論	29	就職における行動経済学：報告・討論
	15	前期総括の討論	30	総括的議論				
授業外学修 (事前学修)	報告班はレジュメ作成や報告の仕方について十分な打ち合わせと準備が必要です。また、演習の質を高めるのは十分な準備を経た質問にあります。(2時間程度)							
授業外学修 (事後学修)	討論後は、各自が現実の経済現象での事例を討論内容に即して考察する形での復習が求められます。(2時間程度)							
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応	
	授業への参加姿勢				50%		①, ②	
	報告班での担当課題の成果				20%		①, ②	
	質問、司会・評価班での議論への貢献 レポート				20%		①, ②	
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>							
教科書	筒井義郎、佐々木俊一郎、山根承子、グレッグ・マルデワ『行動経済学入門』(東洋経済新報社, 2017)							
参考文献	<p>ダニエル・カーネマン『ファスト&スロー—あなたの意思決定はどのように決まるか—』(早川書房, 2012)</p> <p>リチャード・セイラー、キャス・サスティーン『実践行動経済学—健康、富、幸福への聡明な選択—』(日経 BP 社, 2009)</p> <p>友野典男『行動経済学—経済は感情で動いている—』(光文社新書, 2006)</p>							
その他	演習ですから、何よりも参加することが重要で、無断欠席は厳禁です。また、班のメンバーに迷惑がかかるようなことのないようにしてください。							